

古河市立釈迦小学校 令和5年度 グランドデザイン (案)



思いやりのある子	よく考える子	元気な子
ゆたかさ プロジェクトチーム	かしこさ プロジェクトチーム	たくましさ プロジェクトチーム
自己肯定感を高め、主体的に取り組む力を育成する	学ぶ意欲を引き出し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努める	健康な心身とやりぬく力を育成する
○認め合い、高め合う学級づくりの推進 ・構成的グループエンカウンター等を活用し、共感的な人間関係の構築を図ります。 ○特別活動の充実 ・縦割り班活動を計画的に実施し、学年を超えた人間関係づくりを推進します。 ○道徳教育の充実 ・道徳の授業、教育活動全体を通して人権感覚を養い、いじめや差別の根絶を目指します。 ○特別支援教育の推進 ・特別支援教育の職員研修を充実させ、全職員の連携協力による指導・支援を充実させます。	○確かな学力を育む授業の推進 ・「論理的に考え、表現する力を育成する授業」を研究していきます。 ○基礎・基本の確実な定着 ・チャレンジテスト等を充実させ、漢字力や計算力等の基本的な力を確実に定着させます。 ○ICT機器の効果的な活用 ・ICT機器の効果的な活用に努め、個別最適な学びの充実を図ります。 ○読書活動の推進 ・言葉や感性、表現力を高めるために、家庭と連携しながら、読書習慣を身に付けさせます。	○体育の授業の充実 ・運動量を確保する時間と場を設定した、主体的活動を促す授業改善を進めます。 ○業間休み、昼休みでの外遊びの励行 ・サーキットトレーニング「忍者シャカトリくん」の設定等、楽しみながらの体力向上を目指します。 ○「早寝・早起き・朝ご飯」の推進 ・学級活動での指導の充実と、お便りや懇談会等を通じた家庭との連携を図ります。 ○健康・安全・防災教育の充実 ・様々な想定での避難訓練を計画的に実施し、「自分の命を自分で守る」意識を育みます。
目標 ・「自分には良いところがある」 80% ・「学校は楽しい」 90% ・「いじわるせず仲よくする」 80% ・「自分は大切にされている」 80%	目標 ・「授業がよく分かる」 80% ・「チャレンジテスト合格」 80% ・「ICT機器を積極的に活用した」 80% ・「読書年間50冊」 90%	目標 ・「体力テスト(A+B)」 60% ・「休み時間は外で元気に遊ぶ」 80% ・「早寝・早起き・朝ご飯を守る」 70% ・「安全に気をつけて生活する」 90%

地域社会に開かれた学校
○家庭・地域との連携推進 ・学校運営協議会を通して、家庭・地域の意見を聞き、学校の魅力や課題について共有することで、地域と共にある学校を目指します。 ○地域資源、地域人材の活用 ・野菜栽培体験の畑借用や登下校の安全を守る交通安全サポーター等、地域の力を借りながら、より良い学校を目指します。 ○積極的な情報の発信 ・学校だよりの発行や学校ホームページの更新を通して、学校での児童や教職員のがんばっている姿を広く知ってもらいます。

信頼される教職員
○指導力の向上 ・講師を招聘した研究授業の推進や教師間による相互授業参観交流を通して、教員としての資質・能力の向上を目指します。 ○コンプライアンス意識の高揚 ・風通しの良い職員集団をつくり、ボトムアップ型のミニ研修等を充実させることにより、服務規律の確保に努めます。 ○働き方改革の推進 ・週あたりの時間外在校時間10時間未満を目標に設定し、業務改善・行事精選により、持続可能な教育活動を目指します。